

鋼構造委員会「鋼構造における鋼材性能の活用に関する調査研究小委員会」委員の公募

土木学会鋼構造委員会では、以下の研究小委員会を新たに設置いたします。この小委員会に参加いただける方を公募します。本委員会の目的及び内容は以下の通りです。

<委員会名称>

鋼構造における鋼材性能の活用に関する調査研究小委員会

<委員構成>

委員長 中村聖三：長崎大学

幹事長 高木優任：新日鐵住金(株)

委員 公募による

<背景と目的、活動内容>

鋼構造物には、その使用目的に合わせて、安全性、使用性、経済性などの諸性能を満足することが求められる。鋼構造物においては、その構成材料となる鋼材の特性が構造物としての性能に大きな影響を及ぼす。近年、鋼素材の発展には目覚ましいものがあり、従来の鋼材よりも高い性能を有する各種の鋼材が開発されてきている。例えば、強度・じん性などの機械的性質に優れる鋼材や溶接施工の効率化、負荷軽減を図る鋼材、耐食性に優れる鋼材などである。土木鋼構造物においても、設計・製作・施工の各段階で高性能な鋼材を利用して、鋼構造物の高性能化が図られてきている。

近年、鋼構造物に対する要求性能は多様化してきており、高性能な鋼材を活用することによりそれらの課題を解決することが期待される。そのために、鋼材の高性能化に関する技術的なバックグラウンドを理解し、構造物の要求性能を満足するための有益な活用方法を検討する必要がある。しかしながら、このような観点で構造物への高性能な鋼材の活用方法が整理された資料は少なく、これまでに得られてきた知見の体系化が望まれるところである。

このような現状に鑑み、本小委員会では、土木鋼構造物における高性能鋼の利用事例や性能検証の方法を整理するとともに、高性能な鋼材の活用方法についても検討し、高性能鋼利用の参考となる資料を作成することを目的とする。

具体的な調査研究項目は、以下のものを予定している。

- ・高性能鋼の利用技術(建設分野)の事例収集, 整理
- ・構造物としての材料への要求事項の設定事例の収集, 整理
- ・高性能化の技術的バックグラウンドの整理
- ・現在入手可能な高性能鋼の種類と性能の取りまとめ
- ・新しい鋼材の利用法の検討

<活動方法>

年4回程度の委員会, およびWGによる活動

<活動期間>

2017年8月～2020年7月(予定) ※ 旅費, 交通費は支給されません

<公募締切日>

2017年6月30日(金)

<応募方法>

本委員会に参加を希望される方は, (1)氏名, (2) 所属・役職, (3)連絡先(住所, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), 等について, 下記の応募先まで E-mail でご連絡ください(書式は任意). 応募の際のメールタイトルは「鋼構造における鋼材性能の活用に関する調査研究小委員会参加希望」として下さい。なお, できるだけ多くの方の参加を希望しますが, 応募者数によってはご希望にそえない場合もございますので, あらかじめご承知おき下さい。若手技術者の応募も歓迎いたします。

<応募・問い合わせ先>

高木優任(幹事長) 新日鐵住金株式会社 建材開発技術部 橋梁開発技術室

〒100-8071 東京都千代田区丸の内 2-6-1

Tel. 03-6867-6342, Fax. 03-6866-4931

E-mail: takagi.f3e.masahide@jp.nssmc.com